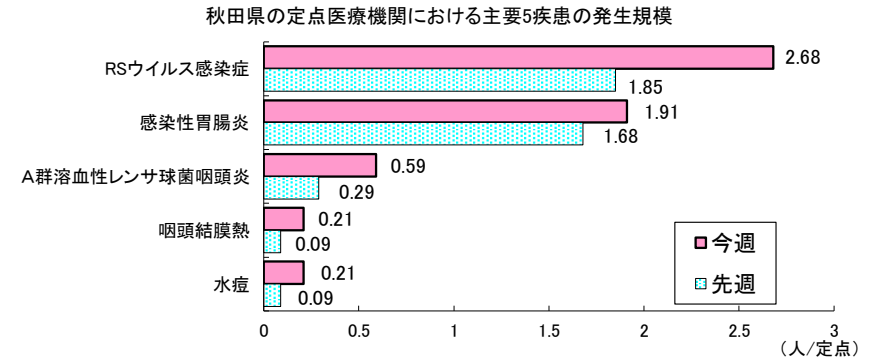




**【第19週の発生動向】**

＜定点把握対象疾患(週報)・前週比＞

- RSウイルス感染症は、県全体で1.4倍に増加しています。保健所別では、由利本荘、横手で増加、秋田市、能代、秋田中央で減少しています。
- 感染性胃腸炎は、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、能代、大仙、横手で増加、北秋田、秋田中央、湯沢で減少しています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で2.0倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、秋田中央、横手、湯沢で増加、由利本荘で同規模、北秋田、大仙で減少しています。



**発生報告**

＜五類定点対象疾患(週報)＞

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢				
	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減					
RSウイルス感染症	1.85	2.68	↗	7.29	6.86	↘							0.33		↘	0.25		↘	2.50	10.50	↗						0.33	↗				
インフルエンザ																																
咽頭結膜熱	0.09	0.21	↗	0.29	0.43	↗																0.75		↗			0.33		0.33			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.29	0.59	↗	0.29	0.43	↗		1.25	↗	0.50		↘					0.75	↗	0.25	0.25		1.00	0.75	↘	0.67	1.33	↗		0.33	↗		
感染性胃腸炎	1.68	1.91	↗	2.00	2.29	↗		2.00	↗	4.00	0.50	↘		0.67	3.67	↗	4.50	1.50	↘			1.50	1.75	↗	2.00	5.00	↗	1.00	0.33	↘		
水痘	0.09	0.21	↗		0.29	↗							0.67	0.67			0.50	↗	0.25		↘				0.33	↗						
手足口病																																
伝染性紅斑	0.03		↘				0.25		↘																							
突発性発しん	0.21	0.15	↘	0.29	0.14	↘	0.75	0.50	↘							0.25		↘		0.25	↗	0.25		↘			0.33		↗			
ヘルパンギーナ																																
流行性耳下腺炎																																
川崎病																																
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*				
流行性角結膜炎		0.14	↗		0.33	↗				*	*		*	*		*	*										*	*				
細菌性髄膜炎																																
無菌性髄膜炎																																
マイコプラズマ肺炎																																
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																																
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																																

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。  
 「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が能代保健所管内から1人、報告されました。
・四類感染症のレジオネラ症が大館保健所管内から1人、報告されました。
・五類感染症の侵襲性肺炎球菌感染症が能代保健所管内から1人、報告されました。
・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から61人、能代保健所管内から1人、秋田中央保健所管内から22人、大仙保健所管内から6人、横手保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

Table with columns: 類型, 疾患名, 1週-18週 (全国, 秋田), 19週 (秋田). Lists various infectious diseases and their counts.

Main table with columns: 類型, 疾患名, 1週-18週 (全国, 秋田), 19週 (秋田). Lists a wide range of infectious diseases and their counts.

\* 新型インフルエンザ等感染症

トピック

<RSウイルス感染症について>

RSウイルス感染症は、例年秋から冬にかけて流行する小児の呼吸器疾患です。2020年は一年を通じて全国的に患者報告数の増加はみられませんでした...

■症状

感染から4～6日の潜伏期間の後、発熱や咳・鼻汁などといった上気道炎症症状が現れます。1歳未満の乳児では中耳炎の合併や、肺炎、気管支炎へと進行することも多くあります。

■感染年齢

RSウイルスには1歳までに半数が、2歳までにほぼ全ての幼児が1度は感染するとされています。生涯にわたり何度も感染を繰り返しますが、身体の免疫機能によって徐々に症状は軽くなり、年長児以降では軽いかぜ程度で済むようになります。

■予防

主な感染経路は飛沫感染と接触感染です。こまめな手洗い、マスクの着用等の日常的な予防対策をしっかりと行いましょう。

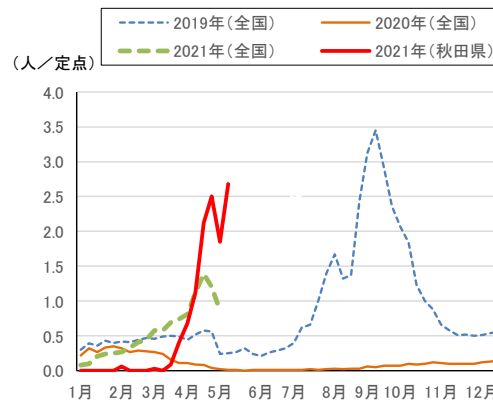


図1 RSウイルス感染症の定点あたり報告数の推移

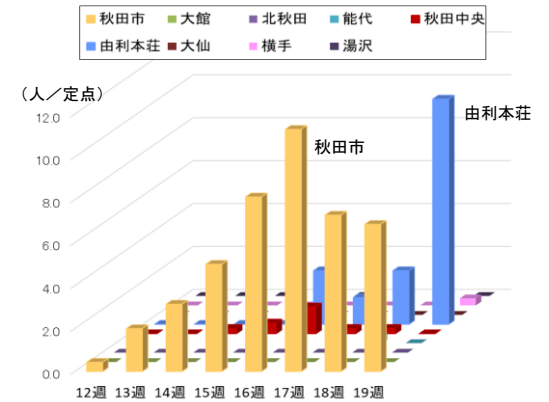


図2 保健所別RSウイルス感染症の定点あたり報告数(2021年)

感染症の集団発生報告

RSウイルス感染症の集団発生報告が2件ありました。

Table with columns: 事例の種類, 所在地, 施設名, 報告日, 利用者(園児、入所者等), 職員, 計, 把握期間, 症状. Lists two group infection cases of RS virus.



**【注意報・警報の発生状況】**

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

**【注意報・警報の定義】**

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		